

## 7月 定例教育委員会会議録

1	日 時	令和元年7月25日(木) 午後5時30分から午後6時13分まで
2	会 場	磐田市役所 西庁舎3階 特別会議室
3	出席者	村松啓至教育長 鈴木好美委員、青島美子委員、杉本憲司委員、秋元富敏委員
4	出席職員	市川 暁教育部長、藺田欣也教育総務課長、川倉彰裕教育総務課参事兼学府一体校推進室長、加藤計吾児童青少年政策室長、木野吉文学学校給食課長、小澤一則学校教育課長、伊藤八重子中央図書館長、高梨恭孝文化財課長、磯部公明地域づくり応援課長、鈴木都実世幼稚園保育園課長、岡本由紀子ひと・ほんの庭 にこっと館長補佐 傍 聴 人 0人

(進行委員：鈴木好美委員)

### 1 開会

### 2 教育長あいさつ・教育長報告

みなさん、こんばんは。定例教育委員会にお集まりいただきまして、ありがとうございます。

先日は三遠南信教育サミットが開催されました。南信州、東三河、静岡県西部の遠州地域と、各地域において、さまざまな教育委員会の実態があり、その違いが大変勉強になりました。

飯田市の美術博物館を見学させていただきました。人口約10万の都市ですが、美術博物館と動物園を運営しています。文化の違いなどの要因はありますが、これからの磐田市を考える中で、この都市の規模で運営に至った経緯について、十分に検討していかなければならない点であると思いました。

本日、小学校の水泳大会が開催され、4カ所の会場に分かれ、全22校の児童が参加し行われました。今年で水泳大会は最後ということになりますので、残念な気持ちもあります。しかし、各校、力を合わせて全力を出して大会に臨んでいると感じました。自分が水泳を頑張ったということを発表する時間がありました。25メートルを泳げない子が、1会場に4、5人いましたが、ビート板を使い必死に泳ぐ姿を、子どもたちがしっかりと見て、最後に拍手をして迎える姿がどの会場でも見られました。落ちついた小学生の子どもたちの良い大会を見ることができました。

1学期間の各学校の様子を見ますと、大変落ちついた学校運営ができています。32校それぞれ校長、職員、子ども、地域の違いの中で特色ある学校運営ができていていると思います。学校の特色は、目に見えるものだけでなく、目に見えないものも含め大事にするということだと思えます。それは私が文化を大切にしていること、市民の方が見付の文化を大切にしていることと一緒だと思えます。学校に特色がないという人もいますが、特色のない学校はどこもないということだと改めて思えます。当たり前のことを当たり前に、しっかり各学校が特色ある学校運営を実施してくれていることを心から感謝してやみません。

経済産業省が、今中心となって新たな「未来の教室」を描こうとしています。その「未来の教室」の中でのキーワードは「学びの自立化と個別最適化」で、現在、私が考える理想形に近い教育形態だと思えます。例えば、Giftedは特殊な才能を持った子たちのことです。そういう子たちにも教育の対応ができるのが「自立化と個別最適化」です。特殊な才能を持っている子に対しては、今の学校教育では、一斉画一型になりやすく、十分に伸ばすことができません。Twice exceptional、特

殊な才能と発達障害を同時に持っている子たちにも対応できる、教育形式が実際に存在します。経済産業省が提唱するSTEAM教育で、サイエンス、テクノロジー、エンジニアリング、アート、マスマティクス、の5つの領域を横断的にとらえたものです。未来の教室をつくるのに、経済産業省が主導で実施していることは興味深いところです。産業に教育を関連付けていこうという背景がそこにはあると思います。新しい教育の流れ、「学びの自立化と個別最適化」として、今後も必ずこのような考えが出てくると思います。GiftedやTwice exceptionalのような子どもたちにも着目して進めていかないとはいけません。また、新しい教育はそういう領域に来ていると改めて思うところでもあります。新たな学校づくりということで、いろいろ行っていますが、これからの「未来の教室」を想定した学校運用が、新たに必要になると感じています。

### 3 前回議事録の承認

6月27日定例教育委員会

- ・修正の意見なし
- ・原案のとおり承認

### 4 教育部長報告

市の動きについて2点報告します。

6月議会は、7月3日の最終日に、教育委員会案件である補正予算、条例改正、ながふじ学府一体校の建築、電気、給排水、厨房の4つの契約全て承認をいただいております。

なお、次の9月議会は主に平成30年度の決算について審議を行う予定です。

2点目として、入札妨害職員逮捕事件を受け、7月10日に再発防止対策検証委員会の第1回の会合が行われました。これは大学教授、公認会計士、弁護士の3人の御意見を承っています。委員からは、「職場内で監視し合う風土づくりが大切である」、「当事者が気づかない点について再発防止を考えてほしい」、「アンケートは貴重な資料であるのでさらなる活用に期待している」などの意見がありました。さまざまな意見に対して、真摯に向き合い再発防止を図っていきたいと考えております。

<質疑・意見>

なし

### 5 報告事項

#### (1) 地域づくり応援課

<質疑・意見>

なし

#### (2) 幼稚園保育園課

<質疑・意見>

なし

### (3) ひと・ほんの庭 にこっと

#### ・にこっと1周年事業について

にこっとは昨年皆様の御協力で8月11日にオープンすることができ、今月1周年を迎えることになりました。1周年の記念事業は大がかりなものではありませんが、利用してくださる市民の皆様への感謝祭のような形で、にこっとらしく手づくり感があり、皆さんが1つでも参加してくれるような企画を考えさせていただきました。

昨年10月から飼育を始めましたヤギたちも、8月で満1歳になることから、「にこっと、あんこ、きなこの1歳おめでとうの会」ということを計画し、11日に開催します。また、申込制ではありませんが、にこっとの特色である天体観測に絡めまして、移動式プラネタリウムの開催、香りの博物館とのコラボ企画、工作会などを計画しています。今後も多くの皆さんに御利用いただき、市民の皆さんが少しでもにこっとできる場として事業を行っていきたいと思っています。周知の方法には、「いわたホッとライン」や子育てアプリなどで啓発していく予定です。

#### ・令和元年度中学生スタートアップ事業について

中学生スタートアップ応援事業については、結果や主な取り組みについて皆様に御報告させていただいているところです。昨年度の応援の気持ちの伝達と商品券の引きかえについては、皆様の御協力をいただき、引き換え者は1,577人、引き換え率としては97.6%、商品券の使用率は99.47%と高い数字となりました。今年度は昨年度よりも更により事業になるよう、御協力をお願いしたいと思います。

今年度の事業については2点変更を考えています。1点目は期間についてで、申請期間を2月末から3月末として1カ月延ばします。これは転入者に対応するものです。商品券の使用期限は5月末から4月末までとして、1カ月間短縮していきます。これは、昨年度の商品券の使用状況を見ると、ほとんどの方が3月末までに制服等を購入するために商品券を使用していることから、期限の見直しをするものです。

2点目は応援メッセージについてです。昨年度は市民の代表者の方々に応援メッセージを1つ選び、「大丈夫、自分らしくを大切に」という言葉を書きいただき、フォトフレームに入れて引き換え者の皆さんに手渡しをしました。「大丈夫、自分らしくを大切に」というメッセージが大変好評だったことから、今年度も引き続きこのメッセージを使用することとして、メッセージに魂を込めていただく方々は市民代表者に加え、子どもたちの身近な師である小中学校の先生や、多くの市民の方々に書きいただき、心のこもったメッセージカードを子どもたちに手渡していきたいと考えています。メッセージの記入を教育委員の皆様にもぜひ御協力いただきたいと思っています。

#### <質疑・意見>

○ここで引き換えができなかった人数は約40名近くいますが、理由はわかりますか。

○理由は外国籍の方や、支援学校に通っている方で対象から外れている方などです。外国籍の方で中学校の指定学校に通っていない方や、指定制服がない方が今回当てはまりますので、その点に配慮した対応を研究していきたいと考えています。

また、引き換え対象の方には全員に通知を送っていますが、学校指定の制服がないところもあり、購入できる物がない場合があります。学校で使用する物は購入ができるようにすることなど研究していきたいと考えています。

#### **(4) 教育総務課**

- ・令和元年度磐田の教育について

磐田の教育の内容については先月御説明させていただいたところですが、表紙の案ができましたので、案1、案2をご覧ください決めていただきたいと思います。

背景について、白が基調になっていて花柄が強く出ていて、斜視の枠が楕円なのが案1、背景が全体的にピンク色で、写真の枠が均等な円になっているのが案2となります。

(※背景は案1、写真の形は案2とすることで決定)

#### **(5) 学校給食課**

- ・令和元年度磐田市学校給食物資納入業者の追加指定について

今回、追加申請の「大城秀徳」につきましては、岩田小学校の調理員が自校の地産地消を推進するため、学区内で野菜や果物の生産納入者を探して依頼したことにより、申請された事業者で、今年10月から岩田小学校の給食にトマトなどを取り入れたいと考えています。

なお、この案件は7月10日に開催しました学校給食運営委員会において承認をいただいております。

<質疑・意見>

なし

#### **(6) 学校教育課**

- ・全国学力・学習状況調査結果の公表について

今年度も例年のように児童生徒の学力向上に向け、保護者をはじめとする市民の皆様に調査結果を御理解いただき、学校、家庭、地域が連携して取り組むことが大切であると考えて調査結果の公表を行っていきます。磐田市の平均正答数は、小学校、国語、算数、中学校、国語、数学、英語のすべてにおいて、全国・静岡県を上回る結果となりました。

今後の予定ですが、市では8月初旬に市平均正答数及び市平均正答率の結果の概要を公表する予定であり、10月初旬までに調査結果の分析と学力向上に向けた改善策を公表していきます。

<質疑・意見>

○学力調査も大事なことですが、子どもの意識や自己肯定感が大事だと思っておりますが、その内容は調査に入っていますか。

○現在その内容はわかりませんので、わかり次第、報告させていただきます。

#### **(7) 中央図書館**

<質疑・意見>

なし

## (8) 文化財課

### ・遠江国分寺跡整備委員会委員の委嘱について

遠江国分寺跡整備委員会委員ですが、民生教育委員会の委員長、副委員長の交代に伴い2名が新任となり、その他の委員についての変更はありません。

報告になりますが、7月27日から中央図書館で、文化財課の企画展ということで、「記念物100年展参加事業～いわたには伝えたいものがある～」を開催させていただきます。磐田市は大正11年からいろいろな調査を実施していて、その100年間の成果などを展示しています。中には、いろいろな古墳の模型などを職員の手づくりで用意してあります。実際に、古墳というただ単に、土を盛ってあるみたいなイメージですが、実際には、石をはめ込んだ部分も精密に再現してありますので、真直に見ることもできると思っています。期間中は記念講演会ということで、8月18日、14時から、奈良女子大学の名誉教授の館野先生をお招きして講演を予定しています。

### <質疑・意見>

○飯田市へ訪問したときに、美術博物館を視察しました。現物展示ということで断層のジオラマの展示があり、学芸員のかたが非常に丁寧に説明をしてくれました。磐田市も是非、同じような展示を将来的に考えても良いのではと感じました。

○中央図書館では、一般の方の来館が多い中で、動画を見ていただく形になりますので、本物を知ってもらいたいという思いが強い学芸員が難しい話をしすぎてしまうと、関心が持たれないということも考えられます。まずは、目で見て楽しめるという形と、画面的にはかなり深掘りした部分との両方を追求していきたいと思っています。また、将来的には、磐田の歴史などの価値ある物を展示するスペースの設置を検討し、市民の皆さんに磐田市はこんなすごいものがありますということ伝えていきたいと思っています。

国分寺の木装基壇の動きについては剥がして固めたようなものがあります。また、御殿・二之宮遺跡の一部分で液状化した後を固めたものもあり、2種類が保存されています。

今度は、いろいろな古墳を100分の1で再現し、今も、国分寺の七重の塔の礎石がそのまま見られますが、ジオラマのような物をつくり、現地に足を運んでもらえるような仕掛けを考えています。

## 6 協議事項

### <質疑・意見>

なし

## 7 その他

なし

## 8 次回教育委員会の日程確認

### ・定例教育委員会

日時：令和元年8月29日（木） 午後5時30分から

会場：市役所西庁舎3階 特別会議

## 9 閉会